

茨城大学理学部物理学教室教員

1. 助手 1名
2. (1)宇宙物質学講座
現在、教授・天竺堯義、助教授・坪井昌人が在職している。
3. 星間分子の実験的研究(主としてサブミリ波、赤外線領域での分光)あるいは、電波天文学
5. 1995年4月1日
7. 履歴書、これまでの研究概要と今後の抱負、業績リスト、主要論文別刷(5編以内)、意見を伺える方2名の氏名と連絡先
8. 1995年1月20日必着
9. (1) 〒310 茨城県水戸市文京2-1-1
茨城大学理学部物理学教室主任 野田二次男
TEL 0292-26-1621 (内線651)
(2) 同教室 天竺堯義
TEL 0292-26-1621 (内線477)
10. 封筒に「宇宙物質助手公募書類在中」と朱書し、書留で送付のこと。

研究会・集案内

文部省科学研究費総合研究A「擾乱媒質中の波動伝播と補償光学」第二回研究会のご案内

日時：1995年1月18日(水)～20日(金)

場所：箱根桃源台(芦ノ湖畔) 箱根アカデミーハウス

趣旨：昨年8月下旬に上記第一回研究会を国立天文台三鷹で開催致しましたが、欧米からの参加者も含めて100余名の参加があり、光学赤外線天文学に於ける補償光学のみならず、電波天文、波動の伝播の物理、高層大気物理、レーザー核融合、レーザー計測、同位体分離などさまざまな分野からの研究者に講演をして戴き、互いに境界分野の研究の進展を知る良い機会になったと好評を得ました。本年度も開催致しますので、参加者を募ります。奮ってご参加戴ければ幸いです。講演内容は前回同様、上記テーマに関するものをかなり広い分野から募りたいと思っております。

世話人：〒181 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台

家 正則、高見英樹、高遠徳尚

Fax：0422-34-3608

【おしらせ】

宇宙科学啓発ビデオ

〈宇宙へ飛び出せ〉シリーズ第3巻のご案内

文部省宇宙科学研究所では、国際宇宙年(1992年)を記念して制作を開始した宇宙科学啓発ビデオ〈宇宙へ飛び出せ〉シリーズの第3弾として、第3巻『オーロラのふるさと—地球磁気圏の科学—』(VHSカラー25分)が完成し、(財)宇宙科学振興会より発売中(価格税込み3,300円送料500円)です。



第1巻『宇宙をさぐる—ロケット・人工衛星—』並びに第2巻『母なる太陽』に引き続き、この第3巻では、専門の研究者がオーロラの謎をわかりやすく解説します。

オーロラはなぜ北極と南極の空に現れるのか、なぜあのように美しく光るのか、南極昭和基地でのオーロラ観測研究の状況、北海道で見られた赤いオーロラの貴重な映像、科学衛星で宇宙から見たオーロラの姿など、さまざまなオーロラのすばらしい映像を織り混ぜながら、地球磁気圏の構造から、オーロラの素顔に迫ります。このビデオは、小学校高学年から社会人まで幅広い年代に、感動とともに宇宙への好奇心を与えてくれるでしょう。

制作にあたっては、文部省の教科書調査官や教育現場の先生方の意見も反映されているので、学校での理科・地学の教材としても使えるように配慮されており、ぜひ学校、図書館、博物館、プラネタリウムなどでそろえてほしい作品です。また、教師や保護者を対象としたビデオに即した詳細な解説書もついております。

問合せ・申込み：財団法人 宇宙科学振興会

〒229 相模原市由野台3-1-1 宇宙科学研究所内

TEL 0427-51-1126 FAX 0427-51-2165

編集委員 谷川清隆(編集長)、坂尾太郎、田代 信、中川貴雄、中村 士、濱部 勝、林 左絵子、半田利弘	発行人 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1国立天文台内	社団法人 日本天文学会
平成6年11月20日	印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12	啓文堂 松本印刷
印刷発行	発行所 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1国立天文台内	社団法人 日本天文学会
定価 700円(本体680円)	電話 (0422)311-1359 (FAX自動切換)	振替口座 東京 6-13595